



発行所
伊方町
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦
〒796-03 伊方局38-0211
編集
総務課
印刷所
豊豫社
八幡浜市松柏 22-0144



色とりどりのウェアを着てゲレンデに集合した有寿来小全児童

待ちに待ったスキー遠足

〔有寿来小全児童が参加〕



親子スキー遠足は、昭和六十年四月に有寿来小学校へ赴任した山田校長が、有寿来小学校では体験できない自然とのふれあいを児童に体験してもらおうと計画したもので、三年前から実施しています。一昨年は小田深山スキー場、昨年は久万スキーランド、今年も二月八日(水)に昨年と同じ上浮穴郡久万町にある久万スキーランドで、十九人の児童全員と教職員や父兄ら合わせて三十九人が参加して行われました。

当日は午前七時に貸切バスで出発、約三時間半かけてスキー場へ到着しました。小雨がぱらつくあいにくの天候でしたが、スキー場は人工造雪で一面の銀世界。児童らはスキー場の用具を借りたあと、色とりどりのウェアを着てゲレンデに集合。引卒の薬師神先生からスキーの基礎を教ったあと、さっそくスキーを始めました。

待ちに待ったスキーとあって児童らは大喜び、雪の感触に感激しながらスキーを楽しんでいました。この行事も今年で三回目となり学校行事として定着しています。高学年の児童は慣れたもので、一気にゲレンデを滑っていました。また、初体験の一年生四人は、歓声をあげながらスノーボードですべりを楽しんでいました。日曜や祭日には大勢のスキーヤーで賑やかなスキー場も平日とあって大した混雑もなく、児童らは午前十一時から午後二時までの間、寒さを忘れて思う存分白い世界を満喫していました。帰りのバスの中は疲れた様子もなく児童らのにぎやかな声がはずみ、楽しい一日となりました。

有寿来小学校では、児童や父兄らに好評のスキー遠足を来年も行うことになっています。

今月の紙面

- 二面……町駅伝大会で奥チーム二年連続優勝 必ず申告をしましょう
- 町・県民税、国民健康保険税
- 三面……第一三五回定例町議会
- 四面……62年度町の決算報告
- 五面……新しい時代に大人へのスタート 「平成」初の成人式
- 六面……歳時記「受験シーズン」

春の火災予防運動

2月28日～3月13日

その火・その時・すぐ始末!

火災はほとんどが「人災」。「消したつもり」「消えたはず」がとんだ大火事につながります。そして、火事ほどみごとに、すべてを灰にしてしまうものはありません。そのうえ、近所にも大迷惑。とくに「台所を制すれば火災は半減」。やはり奥さまの責任は重大です。

9分間に1件の割合で発生する火災

「火はよき召使いであり、あしき主人である」といわれま。人間の歴史は、いわば火を飼いならす歴史でもあったわけ。ところが、いい気になって主人顔をする、火は歯をむき出して向かっています。

春先は

山火事多発期

昭和62年中の1年間で見た場合、全国で約5万8833件の火災が起きています。約9分間に1件の割合で発生した勘定になります。火災による死者は1857人で、1日当たり約5人。火災のおもな原因は、ころ・たばこ・たき火などで、失火によるものが圧倒的に多。火のあつかいには十分注意しましょう。

山火事を防ぐ7つのポイント

1. 火入れをする場合は、消防署へ届け出て下さい。
2. 火入れは、広くて周りに燃えやすい物がない場所で行うこと。
3. 風の強い時や空気が乾燥している時は、火入れをしないこと。
4. 一度にたくさん燃やさないこと。
5. 消火準備をしておくこと。(消火器やバケツの水を用意する)
6. 完全に消火するまで、火入れの場所を離れないこと。
7. 日没前には、完全に消火すること。

出火原因ワースト3

1. こんろ
2. たばこ
3. たき火

人権コーナー

この標語は、昨年度町人権擁護推進協議会が募集した人権作品の標語の部門で「議長賞」に選ばれました。

広げよう

あなたの笑顔で 仲間のわ

兵頭 由美子(有寿来小六年)

平成元年度 住民税申告日程表

Table with columns: 月日(曜日), 時間, 行政区分, 場所. Lists tax filing dates and locations from Feb 27 to Mar 13.

給与支払報告書が勤め先か

申告をしなければならぬ人

国民健康保険税

町の国民健康保険に加入している人は、この税の対象になります。

昭和六十三年分所得税の確定申告は、二月十六日から受付けが始まっています。

町民税

町や県へ納める税金。所得の額が、扶養などの控除額より多いときは一定の率でかかります。

所得税の確定申告は

お早やめに

税金相談所が開設

八幡浜税務署では、三月一日(水)・二日(木)に出張納税相談所を開設します。

国民健康保険

四月一日から新しい被保険者証になります

納税済世帯には

国民健康保険税をきちんと納めている世帯は被保険者証が交付されます。

学・遠の被保険者証の交付申請は

現在在学学生であり、学・遠の被保険者証を交付されており、四月一日以降も引き続き学・遠の被保険者証の必要方は改めて在学証明書を提出して学・遠の被保険者証の交付申請をする必要があります。

町民税・国民健康保険税

二月二十七日から巡回相談

ことしも申告時期になりました。

個人が所得申告をして納める税金には、所得税(国税)、住民税(町民税)、国民健康保険税の三種類があります。

このように所得申告は、税務署が扱う所得税の確定申告の対象とならない方の申告です。

町民税

町や県へ納める税金。所得の額が、扶養などの控除額より多いときは一定の率でかかります。

所得税の確定申告は

お早やめに

税金相談所が開設

八幡浜税務署では、三月一日(水)・二日(木)に出張納税相談所を開設します。

国民健康保険

四月一日から新しい被保険者証になります

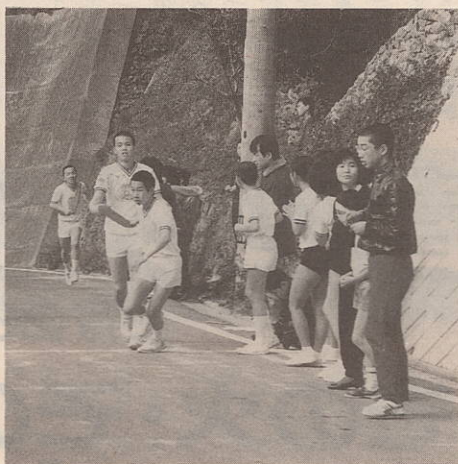
納税済世帯には

国民健康保険税をきちんと納めている世帯は被保険者証が交付されます。

学・遠の被保険者証の交付申請は

現在在学学生であり、学・遠の被保険者証を交付されており、四月一日以降も引き続き学・遠の被保険者証の必要方は改めて在学証明書を提出して学・遠の被保険者証の交付申請をする必要があります。

奥チーム2年連続優勝



町駅伝大会

二月十一日(土)町内一周駅伝大会が開かれ、地区対抗の一部では奥チームが二年連続で優勝を飾り、中学校運動部対抗の二部では男子の部が伊方中野球部Cチーム、女子の部は伊方中ソフト部Aチームが好タイムで優勝しました。

今年の大会には一部の地区対抗に十チーム、二部の中学校運動部対抗に十四チーム(男子の部八チーム、女子の部六チーム)、オープン参加として二見小チームが二チームと伊方小教員チームが一チームの合わせて二十七チームが参加した。

地区対抗

優勝...奥チーム

二位...有寿来チーム

三位...大浜チーム

四位...河内チーム

五位...湊浦チーム

六位...中之浜チーム

一位時間七分五十二秒

二位...伊方中野球部C

三位...伊方中バスケット部A

四位...伊方中ソフト部A

五位...伊方中ソフト部B

六位...伊方中バレー部A

一位時間九分四十八秒

二位...伊方中バスケット部A

三位...伊方中ソフト部A

四位...伊方中ソフト部B

五位...伊方中バレー部A

一位時間九分四十八秒

二位...伊方中バスケット部A

三位...伊方中ソフト部A

四位...伊方中ソフト部B

一位時間九分四十八秒

町駅伝大会

今年の大会には一部の地区対抗に十チーム、二部の中学校運動部対抗に十四チーム(男子の部八チーム、女子の部六チーム)、オープン参加として二見小チームが二チームと伊方小教員チームが一チームの合わせて二十七チームが参加した。

地区対抗

優勝...奥チーム

二位...有寿来チーム

三位...大浜チーム

四位...河内チーム

五位...湊浦チーム

六位...中之浜チーム

一位時間七分五十二秒

二位...伊方中野球部C

三位...伊方中バスケット部A

四位...伊方中ソフト部A

五位...伊方中ソフト部B

六位...伊方中バレー部A

一位時間九分四十八秒

二位...伊方中バスケット部A

三位...伊方中ソフト部A

四位...伊方中ソフト部B

五位...伊方中バレー部A

一位時間九分四十八秒

二位...伊方中バスケット部A

三位...伊方中ソフト部A

四位...伊方中ソフト部B

一位時間九分四十八秒

町駅伝大会

今年の大会には一部の地区対抗に十チーム、二部の中学校運動部対抗に十四チーム(男子の部八チーム、女子の部六チーム)、オープン参加として二見小チームが二チームと伊方小教員チームが一チームの合わせて二十七チームが参加した。

地区対抗

優勝...奥チーム

二位...有寿来チーム

三位...大浜チーム

四位...河内チーム

五位...湊浦チーム

六位...中之浜チーム

一位時間七分五十二秒

二位...伊方中野球部C

三位...伊方中バスケット部A

四位...伊方中ソフト部A

五位...伊方中ソフト部B

六位...伊方中バレー部A

一位時間九分四十八秒

二位...伊方中バスケット部A

三位...伊方中ソフト部A

四位...伊方中ソフト部B

五位...伊方中バレー部A

一位時間九分四十八秒

二位...伊方中バスケット部A

三位...伊方中ソフト部A

四位...伊方中ソフト部B

一位時間九分四十八秒

町の決算報告

一般会計歳出36億5268万円

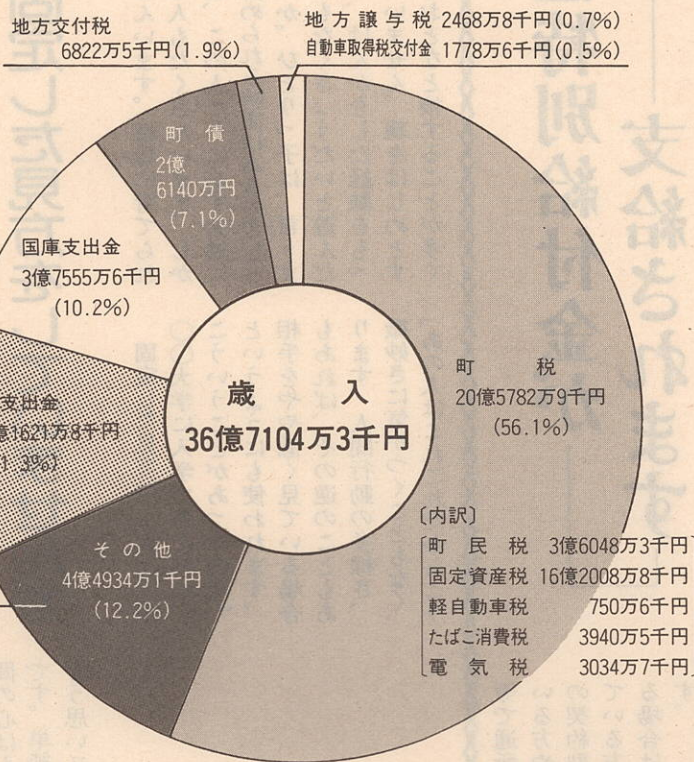
22年連続して黒字

十二月定例町議会で昭和六十一年度の決算が認定されました。

昭和六十一年度における一般会計の決算額は歳入が三十六億七千四百三十三千円、歳出が三十六億五千二百六十八万円六千円、差し引き一千八百三十六万七千円となります。

このうち翌年度へ繰越すべき財源として繰越明許費繰越額一千四百七十七万円が含まれているため、実質の収支額は七百八十九万七千円となります。これにより本町の一般会計は二十二年連続して黒字決算となりました。

これを前年度の決算額と比較すると歳入でマイナス五億五千九百万円、歳出でマイナス五億五千五百万円とそれぞれ減少しています。

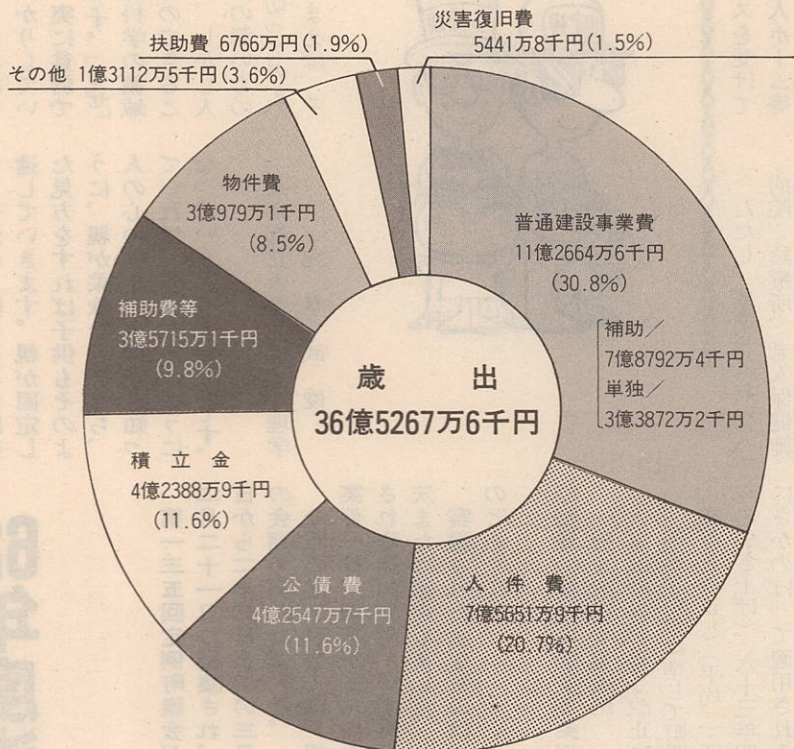


〔内訳〕

交通安全対策特別交付金	102万円
分担金及び負担金	4334万4千円
使用料及び手数料	2028万3千円
財産収入	3044万7千円
寄付金	2260万8千円
繰入金	2億3580万9千円
繰越金	2243万3千円
諸収入	7339万7千円

使ったお金

使ったお金の内訳は、普通建設事業費が最も多く、全体の30.8%を占めています。次に人件費が20.7%、公債費が11.6%、積立金が11.6%、補助費等が9.8%、物件費が8.5%、扶助費が1.9%、災害復旧費が1.5%、その他が3.6%です。

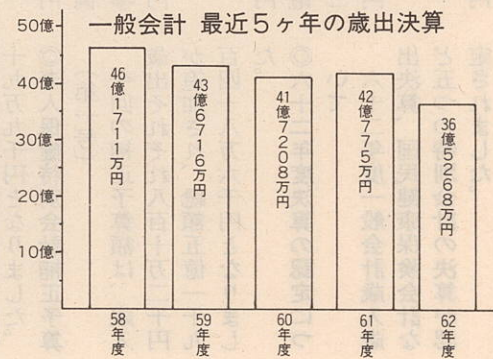


使ったお金の内訳は、普通建設事業費が最も多く、全体の30.8%を占めています。次に人件費が20.7%、公債費が11.6%、積立金が11.6%、補助費等が9.8%、物件費が8.5%、扶助費が1.9%、災害復旧費が1.5%、その他が3.6%です。

各会計の決算状況

	歳入額	歳出額	差引
一般会計	36億7104万3千円	36億5267万6千円	1836万7千円
特別会計	11億9298万4千円	11億7213万6千円	2084万8千円
国保会計			
事業会計	5億9565万円	5億8293万5千円	1271万5千円
直診会計	1億3228万9千円	1億3226万2千円	2万7千円
老人保健会計	4億2012万6千円	4億1202万4千円	810万2千円
学校給食会計	3918万4千円	3918万3千円	1千円
港湾整備会計	334万8千円	334万5千円	3千円
住宅資金会計	238万7千円	238万7千円	0千円

総務費 9億2935万5千円 (25.4%) ◎109,310円	農林水産業費 7億6074万4千円 (20.8%) ◎89,478円	土木費 4億8795万3千円 (13.4%) ◎57,393円	公債費 4億2547万7千円 (11.6%) ◎50,044円	民生費 3億5450万2千円 (9.7%) ◎41,696円
教育費 2億4219万1千円 (6.6%) ◎28,486円	衛生費 2億3277万7千円 (6.4%) ◎27,379円	消防費 8724万7千円 (2.4%) ◎10,262円	議会費 6780万9千円 (1.9%) ◎7,976円	災害復旧費 5441万8千円 (1.5%) ◎6,401円
商工費 1020万円 (0.3%) ◎1,197円				



62年度

生活資本の整備充実

八西地区施設事務組合負担金	5472万円
消火栓維持管理補助	229万円
伊方越防火水槽築造	344万円
須賀防火水槽築造	540万円
心身障害者福祉給付金	428万円
重度心身障害者医療費助成	686万円
母子家庭医療費助成	167万円
零歳児医療費助成	165万円
児童手当支給	1756万円
社会福祉協議会補助	243万円
地方改善事業	255万円
大成老人憩の家設置補助	570万円
国保特別会計繰出金	1800万円
老人保健特別会計繰出金	2554万円
九町診療所繰出金	4404万円
健康づくり推進事業	318万円
小中浦コミュニティセンター建設	3085万円
成人病検診、胃・婦人ガン検診委託	1222万円
八西衛生事務組合負担金	4021万円
ごみ処理業務委託	1380万円
霊柩車委託業務	130万円
伊方町情報化研修センター事業	1193万円
八西ニューメディア協議会負担金	280万円
八西地域総合情報センター出資金	1000万円
地区自治振興基金積立金	1億8071万円
水道事業会計補助	2400万円
下水道整備事業(20ヶ所)	2720万円
町道42号線整備	4546万円
町道湊浦伊方越線整備	900万円
町道亀ヶ池線整備	300万円
町道二見大松線整備	360万円
町道九町女子線整備	500万円
町道大成鳥津線整備	784万円
町道災害復旧工事(43ヶ所)	4384万円
県工事負担金	1720万円
町民グランド用地現況調査	300万円

教育資本の整備充実

遠距離通学費助成(豊之浦)	274万円
小中学校就学援助費	184万円
義務教育教材充実備品	506万円
理科教育備品	245万円
学校施設維持補修	904万円
町奨学資金貸与基金繰出金	400万円
視聴覚教材充実備品	210万円
町民ホール開催委託	145万円
団体活動費補助(青年団・婦人会他)	124万円
町同和教育協議会補助	282万円
各種学級・講座の推進費	185万円

生産資本の整備充実

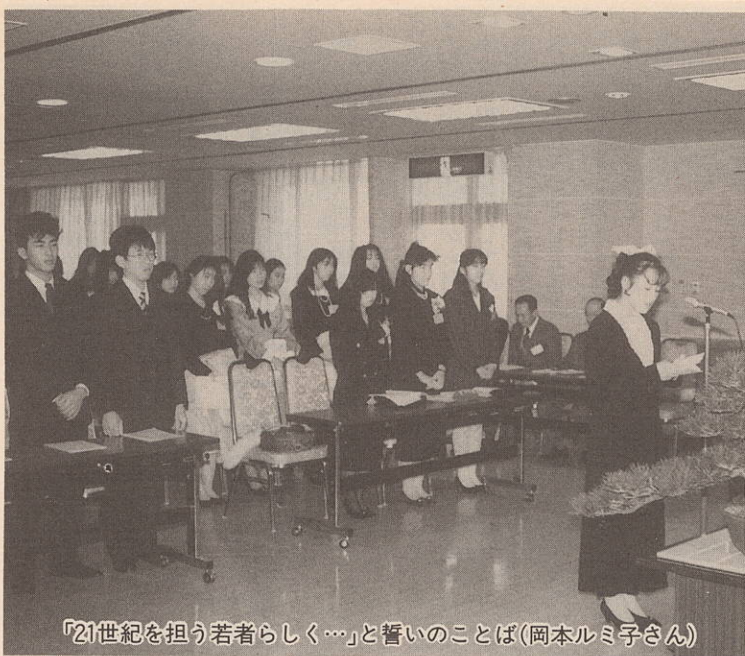
果樹振興資金貸付	327万円
農業近代化資金利子補給	153万円
豊之浦農道整備	4100万円
南浦土地改良総合整備	2100万円
川永田農村基盤整備	3272万円
伊方南地区土地改良総合整備	2369万円
農道開設(9線)補助	536万円
地元負担軽減利子補給	1341万円
農林漁業資金元利補給	4200万円
農業水利推進補助	1059万円
農業水利推進基金積立	9222万円
漁礁投入(伊方越)	437万円
伊方越漁港整備	5690万円
伊方越(亀浦)漁港整備	5870万円
豊之浦漁港整備	1億2500万円
田之浦漁港整備	2400万円
九丁漁港整備	6945万円
豊之浦漁業倉庫	3780万円
商工会助成	500万円
中小企業振興資金利子補給	251万円
伊方港港湾整備	3億3900万円

新しい時代に大人へのスタート

「平成」初の成人式

新しい時代「平成」の新人を祝い一月十五日(日)成人の日に、町・町教育委員会の主催により町民会館で成人式が行われました。

今年、成人式を迎える若者は本町で九十一名、このうち五十一名(男十九名・女三十二名)が参加。式典は、新成人紹介で始まり、主催者のあいさつ・記念品贈呈・お祝いのことば(阿部教育長・梶田議長・篠沢伊青協会長)のあと、新成人を代表して岡本ルミ子さんが「二十一世紀を担う若者らしく日々努力したい・平成という新しい時代を生きるうえで、ふる里伊方町の発展に少しでも貢献したい」と誓いのことばを読みあげました。また、伊方吟詠会長の梶原一尊氏による祝詞が披露され式典を終りました。



「21世紀を担う若者らしく…」と誓いのことば(岡本ルミ子さん)

このあと、記念行事として、新成人と来賓が向い合わせになっての自己紹介や、記念撮影・新成人代表の辻功一さんと青年団代表の田縁藤治さんによる意見発表・二十歳の「出発」の映画視聴がありました。また、午後からは、青年団協議会の主催で、ゲーム等歓迎行事が行われました。

新成人アンケート

- ▽現在の成人式をどう感じていますか。
 - よく読んでいる 一四%
 - 時々読んでいる 五三%
 - 読んでいない 三三%
 - 町の仕事で一番先に手がけてほしいことは 三三%
 - 商工業関係
- ▽あなたのモットーは(座右の銘・格言やことわざ等)
 - 石の上にも三年 努力
 - 自勝者強
 - 成人という言葉で真っ先に浮かんだことは、大人の一人 責任感
- ▽理想の男性像は。
 - やさしい人 八五%
 - 経済力のある人 一五%
 - 誠実な人 七二%
 - 理想の女性像は。
 - やさしく明るい人 九〇%
 - 家庭的な人 一〇%
- ▽あなたが結婚するとき。
 - 恋愛結婚 九〇%
 - 見合結婚 一〇%
- ▽伊方町民であることをどのよう感じていますか。
 - 喜びと誇り 一九%
 - 特別に意識はない 八一%
- ▽広報「伊方町」を読んでいますか。
 - よく読んでいる 一四%
 - 時々読んでいる 五三%
 - 読んでいない 三三%

新入園・入学を控えて

いま身につけさせよう 子供への交通道徳

三月に入り暖かくなつてくると、子供たちは待っていたかのように外で遊びはじめます。思い切つて体を動かせるのが、とてもうれしそうです。しかし、この時期に怖いのは交通事故——特に入園・入学を控えた子供の死亡ニュースほど悲しいものはありません。

指導を繰り返す 習慣づけを

昭和六十二年の「交通統計」によると、六歳以下の子供の歩行中に起きた交通事故は五千四百七件。このうち五五・七%は、「とび出し」が原因によるものです。これらの事故を発生時間帯で見ると、最も多い時間帯は、午後四時から六時までで、この時間帯に発生する事故が、全体の約二八%を占めています。

こうした事故を減らしていくには、まず両親(大人)が

① 一つのものに注意が向くと、周りのものが目に入らない

② 気分によって行動が変わる

③ 抽象的な言葉だけでは、よく理解できない

④ 物事を単純にしか理解しない

⑤ 大人が近くの横断歩道を渡らずに道路を横断したり、信号無視をするのを見ると、まねをします。

⑥ 幼児は視野が狭く、視点が低い

⑦ 幼児の視野は大人より狭く、視点は大人よりも低いため、物陰から出てくる車などが見えず、とび出してしまいます。

特に、入園・入学を控えたお子さんが道路に出るときや道路を渡る時は、必ずいったん止まって右・左を確認する習慣を身につけさせましょう。また、両親(大人)が事前に通園路や通学路を子供と一緒に歩き、危険な場所を確認し、それらの場所ではどのようなことに気をつけなければならないかを具体的に教えてあげることが大切です。

